

令和6年度版「学力向上ポートフォリオ(学校版)」【さいたま市立美園北小学校】

⑥	次年度への課題と授業改善策
知識・技能	
思考・判断・表現	

①	今年度の課題と授業改善策	
	学習上・指導上の課題	授業改善策【評価方法】
知識・技能	<p>【学習上の課題】自らの課題を認識・自己決定し、その解決に向けて工夫・努力して取り組む力を伸ばしたい。</p> <p>【指導上の課題】児童が自らの学びを振り返る時間を確保することが難しい。</p>	<p>⇒ 購入している学年は「計算ドリル」「漢字ドリル」、タブレットが配備されている学年においては「ドリルパーク」や「スタディサプリ」、その他、学年やクラスで用意する「ミニプリント」等を活用し、漢字や基本的な計算等の反復・習熟に取り組む。【週1程度の実施】その際、児童が自ら学びをふり返し、課題を確認する時間を設定する。【月1程度の実施】</p>
思考・判断・表現	<p>【学習上の課題】学習に対して意欲的ではない場面がみられることもある。</p> <p>【指導上の課題】子ども主体の学びとなるような授業を、より多く行いたい。</p>	<p>⇒ 少人数で話し合う活動や、デジタルツールを活用した他者との交流等を意識的に取り入れ、協働的な学びを通して主体的に考えたり、表現したりすることができるようにしていく。【R6年度さいたま市学習状況調査】学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか。の質問項目において、肯定的な回答の割合が90%以上】</p>

⑤	評価(※)	調査結果 授業改善策の達成状況
知識・技能		<p>① 結果分析(管理職・学年主任等)</p> <p>② 詳細分析(学年・教科担当)</p> <p>③ 分析共有(児童生徒の実態把握)</p> <p>職員会議・校内研修等</p>
思考・判断・表現		

②	全国学力・学習状況調査結果について(分析・考察)	
知識・技能	<p>国語では全国同様、日常的に使用する頻度が高いと思われる漢字、「投げる」の正答率は高かったが、「競技」の正答率は「投げる」の正答率より30%以上低かった。その中で、「競」と「技」のどちらかは書けている割合が多いので、漢字の反復練習だけでなく、様々な言葉に触れる機会を大事にしていきたい。</p>	
思考・判断・表現	<p>算数では、全国同様、「家から学校までの道のりが等しく、かかった時間が異なる二人の速さについて、どちらが速いかを判断し、そのわけを書く」問題で正答率が振るわなかった。設問の多くを占めたのが、道のりが同じことを示すことまでではできているが、二人の速さについての言葉や数を入れていないことであった。自分が考えていることを、条件に沿って、相手にわかりやすく丁寧に説明する活動を重視したい。</p>	

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)

- ① 結果分析(管理職・学年主任等)
- ② 詳細分析(学年・教科担当)
- ③ 分析共有(児童生徒の実態把握)

④	さいたま市学習状況調査結果について(分析・考察)
知識・技能	
思考・判断・表現	

③	中間期報告	中間期見直し	
	評価(※)	授業改善策の達成状況	授業改善策【評価方法】
知識・技能	A	各学年、各クラスで児童が適宜習熟やふり返しを行う時間を確保することができた。	変更なし
思考・判断・表現	A	日常的にデジタルツールを活用しての交流を実践できている。機能が新しくなったオクリンクプラスや、スクールダッシュボードでのふり返しを2学期から活用していく予定である。	変更なし

※評価 A 8割以上(達成) B 6割以上(概ね達成) C 6割未満(あと一歩)